

新規保険収載のご案内

RAS 遺伝子変異検出キット
BRAF 遺伝子変異検出キット

MEBGEN RASKET™-B キットお客様各位

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

この度、大腸癌における RAS 遺伝子変異および BRAF 遺伝子変異を検出する体外診断用医薬品「MEBGEN RASKET™-B キット」(承認番号: 22900EZ00059000) が、2018 年 8 月 1 日より保険適用となりましたので、ここに謹んでご案内申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

2018 年 8 月

保険適用日: 2018 年 8 月 1 日

保険点数: D004-2 「悪性腫瘍組織検査」 1 悪性腫瘍遺伝子検査
RAS 遺伝子検査 (2,500 点)、BRAF 遺伝子検査 (2,100 点)
患者から 1 回に採取した組織等を用いて同一がん種に対して悪性腫瘍遺伝子検査を実施した場合は、所定点数にかかわらず、検査の項目数に応じて次に掲げる点数により算定する (2 項目 4,000 点)。

留意事項: 早期大腸癌におけるリンチ症候群の除外を目的として実施した場合にあっては、K-ras 遺伝子検査又は RAS 遺伝子検査を併せて算定できないこととし、マイクロサテライト不安定性検査を実施した年月日を、診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。) また、PCR-rSSO 法を用いて BRAF 遺伝子検査を実施した場合は、「ハ」の K-ras 遺伝子検査の所定点数を算定する。

使用目的:

1. 癌組織から抽出したゲノム DNA 中の RAS (KRAS 及び NRAS) 遺伝子変異の検出 (セツキシマブ (遺伝子組換え) 及びパニツムマブ (遺伝子組換え) の結腸・直腸癌患者への適応を判定するための補助に用いる)
2. 癌組織から抽出したゲノム DNA 中の BRAF 遺伝子変異 (V600E) の検出 (切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌における治療の選択の補助) (大腸癌におけるリンチ症候群の診断の補助)